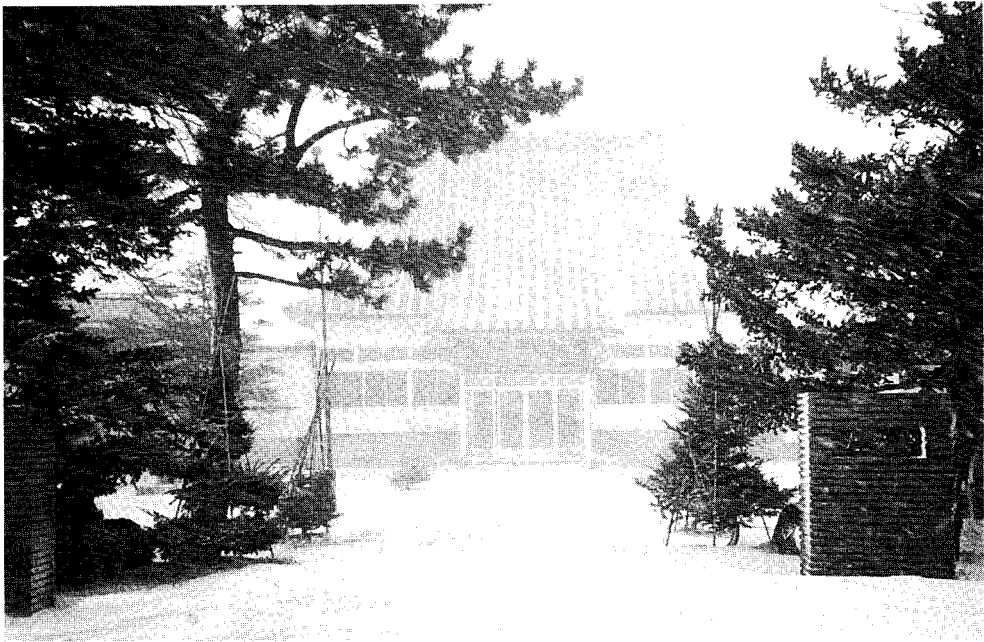


空知南組組報

KUNAN



大安寺 (寺院紹介はP6)

言葉のプレゼント

「私に私

だれにもおねのでもない私

あなたはあなた

だれにもおねのでもないあなた」

山本紹之介氏 「言葉の散歩道」

四年間を振り返って



組長

川原 信明

時の経過は速いもので最初に組長の役をお引き受けした時は、これから先四年間随分長いなあとの感じたのですが、今振り返れば「矢の如し」という如く過ぎ去る事も又事実でありました。

様々に展開をされている基幹運動の推移の中に本願寺、基移転並びに顕如宗主四百年記念法要、団参に関する件、引き続き形で北海道教区護持口数見直しの件、さらに、蓮如上人五百回遠忌法要懇志

額の件、その他北海道教区基幹運動常任委員会の様々な問題等、いずれの案件についても組内各寺院を初めとして、各基幹運動担当の皆様、組の三役の皆様のご協力ご配慮を賜り組長としての役を全うする事ができましたことを深く申し上げます。

今後宗門の様々な活動もより多様化する社会に対しての視野を広く保ちながら、同じ視点よりの対応が強く求められると思います。私たちもお念仏に生かされている宗門人として私たち自信を深めながら御同朋御同行の人々にさらなるお念仏の繁盛に向かって努力を重ねて行く事の大切さを痛感した四年間でもありました。様々にお力添え頂きましたことを感謝致します。



相談員

藤堂 征彦

四百回遠忌に始まり、組口数調整、蓮如上人五百回遠忌懇志調整と数々の難問が山積致しましたが、組内各御住職の御協力を賜り改選年度を迎えることができました。

何分にも徳浅く才少なく学薄く力弱しと、器に無いものが相談員の重責を全う出来たのも、組内各位様の御教導をいただいたことと衷心より御礼申し上げる所存でございます。また同時に種々の御迷

惑等に対しましては心よりお詫び申し上げます。

振り返りますと、基幹運動推進活動の中で「青少年部」が飛躍的に活発な活動になり、「連研部」が組内組織で運営出来るようになりましたが、基推委への数々の活動を全ヶ寺に推進出来なかったことは残念に思います。今後それを組内課題として、より一層の基幹運動推進活動が有機的発展しますことを念じ上げます。

門信徒部長

名和 健成

壮年会、総代会は大変寺院経営に於いて重要なポストにあります事は承知の事であります。過去の寺院は、旧態依然として住職・寺族がすべてお膳立てをし、それに言われるままに参加するという事続いて参りました。

しかしこの四年間これを打破すべく取り組んできました。それぞれ部門の役員構成がすっかりと

し、自覚を持ち責任あることを分かっていただき、次第に行事参加意識も高まって参りました。本年度は壮年会十五周年記念を立派に成し遂げ、また、総代会においては画期的なゴルフ大会を四十名の参加を得て開催致しました。今後とも全員間法全員伝道の意識を新たに、益々発展いたしますようお願いいたします。

僧侶担当部長

吉野賢隆

平成二・三・四年と基幹運動を推進するために、教務所長を講師に一番新しい情報を聞かせてもらう。併せて組内の僧侶の親睦をするが、毎年十三余名の同じ参加者であった。又、Bブロック僧研も組内から三、四名の参加しなく、誠に残念。五年は「僧侶としての儀式に対する姿勢」と題して帯広勝興寺副住職 小沢真了先生にご出講いただき、仏事儀式の大切さを二十二名の参加者一同学び、これからも研修を深めて行くとの声が多くありました。

当面する寺院、僧侶の諸問題が多くあります。僧侶が集まると車、ゴルフでは困ります。寺院後継者、子弟結婚、過疎化、高齢化社会等、念仏道場の寺を消さないために力を合わせましょう。

日校担当部長

家郷宗隆

平成二年四月から日校を担当。前任者の辰田君が連絡協議会を設立してくれたお陰で、担当者でありながら何とか案をさせて頂きました。在任期間中、四人の方々が交代で会長を勤められ、会長さんを中心に活動してまいりました。諸研修会も楽しく明るい集いを持つことが出来ました。研修会の中で、子供達に何か手作りのものを見せたいという思いから、連協の後援と組内若手僧侶の協力により、影絵に挑戦しました。スタッフ一同、初めての試みであったので何かと苦労もありましたが、一人でも多くの仏の子を増やしたいという一念のもとに、スタッフの心が

一つになれたことが大きな喜びでした。有縁の方々の御協力ありがとうございました。とうございました。

婦人担当部長

松山宗生

私たちの宗門の中には、多くの教化団体があり、それぞれに懸命に活動を続けています。なかでも仏婦は加入の単位も多く、各寺院活躍されています。空知南組では各寺院の仏婦だけの活動ではなく、寺族婦人会と一体となり手を取り合い、大きな輪を作ってお互いに連絡し励まし助け合って、間法の会を広げていこうと努力致しております。寺族婦人会は年三回の研修会を開催し、本年度はご本山へ参拝致しました。仏婦は年二回の研修、各ブロックでの大会とそれぞれ盛會裡に開催されました。また、各研修会も歌唱指導、話し合い法座と色々な企画を試み大変好評でした。最後に仏婦活動を活発にすることが寺の活性化、念仏の繁盛につながるのではないのでしょうか。

青少年部長

藤沢正記

時間と空間的な制約の中に生きる私たちが、同じ場所に集まり法縁を結んでゆくという試みにより、仏青部ではスタッフが知恵を出し合い、幾多の企画をしてまいりました。連続的に開催をし、友垣の輪を広め、潤いのある心で今ここに生かされている喜びと報恩謝徳の心を持てる仏の子供を育ててゆくという大きな目的があったからです。実際の活動としては、ジュニア仏青的の意味を含めたキャンプ・スキー。三組合同の研修会。ライブパーティ。従来のYBAという名称から組独自の斬新的な名称(JS AIR)への移行。ロゴ入りオリジナルジャンパーの制作販売等が執行されました。これもひとえに組内各寺の御協力を得ることが出来たからこそと深く感謝いたします。次年度からの組織的かつ実働的なより一層の仏青活動を期待したいと思います。



カメラ通信

☆☆JSAIRライブandパーティ☆☆

平成5年度7月17日、岩見沢市ライブハウス クアーズに於いて、表記企画を開催しました。50名近くの参加者の中に、ビンゴゲーム・報恩寺仏青会で構成されるバンドの生演奏・抽選会など、盛り沢山の内容でアンコールの量もなかなかでした。「又今度やってね!」という声もあり、次年度からも年間の企画として続けたいですね。



☆☆日曜学校一泊研修会☆☆

平成5年7月27～28日、一泊2日の日程で表記研修会が開催されました。今年は幌加内町「ふれあいの家 まどか」。朱鞠内湖で和紙つくりや手打ちうどんに挑戦。約80名の参加がありました。

☆☆空南会研修会☆☆

10月7日、8日、空南会研修会
(於 函館別院)の1コマ。
大変有意義でした。



☆☆組仏連研修会☆☆

組仏連研修会が10月30日奈井江町西本寺において開催されました。役員の方々は2年間の終わりに当たり仮装して「キャッツ」の踊りを披露しヤンヤの喝采を浴びていました。

☆☆組僧侶研修会☆☆

11月29日栗沢町賢誠寺並びに栗沢温泉にて組僧侶研修会が開催されました。十勝組勝興寺副住職小沢真了先生の法式作法を初心に返り忘れていた記憶を蘇らせていただきました。



仏青オリジナル ジャンパーの紹介



とったものです。現在15着を販売しました。一着8500円で希望者に販売しております。今後の組織的な活動を展開していく意味を含めまして、門徒青年や寺院の方にいかがでしょうか！詳細、購入希望の方は、仏青担当者までご連絡下さい。



このたび仏青では、写真のようなジャンパーを作成しました。従来の仏青の名称YBAでは古いのではないかと、何年かの話し合いの中から、組独自の斬新な名称に移行していこうという話になり数カ月かかってようやく完成致しました。

新名称は『J S AIR (ジエイズ エア)』浄土のJ・真宗のS・アソシエイションのA・インターナショナルのI・レリジョン (宗教) のRそれぞれの頭を

第5期空知南組連続研修会が、昨年7月10日から始まりました。

ご講師に正教寺副住職永岡龍乘氏と本覚寺副住職高橋宗瑛氏のお二人をお迎えして、身近な問いをテーマとして12回の研修を行います。

特に今回始まりました第5回目を下記のように一泊研修として、通常の研修会では時間の都合など

記

第5期研修会 一泊研修会

日 時 3月26日午後3時

↓27日正午まで

会 場 奈井江温泉

第5期連研スタート

から話すことができなかつた思い、聞けなかつた疑問を講師・スタッフ・受講者ともゆつくり話し合うことが出来ると思っています。これから2年間、組内13ヶ寺58名の受講者とスタッフ6名がこの連研を最後まで努められますよう、組内ご住職・坊守様方のご協力をよろしくお願いいたします。



ちよひついでし

★唯専寺ご住職キャンピングカーに乗る
栗山町唯専寺ご住職この度日産キャンピングカーをキャンピングカーに特注で改造。車内は豪華なベッチンの内張り、床は建材、そのうえにテレビ・ベット・ロッカー・デスクも完備・忙しい法務もこれで安心です。

興味のある方は是非一度ご覧あれ！
★美唄常光寺ご住職この度教区布教団の副会長に就任されました。ご活躍をご期待申し上げます。

★由仁町本覚寺土曜学校開催！
待望久しい日校が昨年9月組に一つ増えました現在元氣の良い子供達が30名通って来ていますとのこと。生涯学習の手初めはここから。

★岩見沢市上幌向隆王寺住職、家郷隆雄様、満八十八才の米寿を迎えられました。今後もご壮健にて御活躍を念じ上げます。

★栗沢町賢誠寺次女吉野育子様が、九月十五日得度されました。法名釋華貞。春には帰寺されるとの事。お寺・組にとってもたのしい仲間がふえますね。

★由仁町本覚寺住職が長年の民生委員の活動が認められ平成5年度「北海道社会貢献賞」を受賞されました。

寺院紹介

鶴林山 大安寺

●開基 明治三十年・富山県婦負郡八尾町寺家・報恩寺二男川原開信
・旭川市の慶誠寺及び江別真願寺様を縁として北海道に渡る。
明治三十四年北村の地に居を定め、仮布教所を解説。

●寺号公称 大正十年五月十四日付
けで認可

●開基 川原開信、二世・勇進、三世・信明

●沿革事項 明治四十二年・本堂、庫裡新築

●昭和七年・昭和三十六年・三十七年・五十五年と水害にあう。

●昭和三十五年納骨堂建設

●昭和四十二年・仏教婦人会単位登録

●昭和四十四年本堂改築・四十五年庫裡改築。

●昭和五十二年・新納骨堂建設

●昭和五十三年・庫裡増築

●昭和六十年・日曜学校開設・単位登録

●昭和六十二年・客殿新築



北村と言えは温泉。できた当時は陸湯がなく温泉のハシゴをされた方も多いのではないのでしょうか。現在は立派に設備も整い空知一という声もアチラコチラから聞こえて来ます。

ここでご注意
3月いっぱいもっと良くするために改修工事が進められておりますので念のため！
名物と言ってもこれといった食べ物がないそうです。それで大安寺さんで坊守さん手作りのごちそうをどうぞ召し上がって下さい。

言葉のハンカチ

一表紙のつとめ

肩書

司馬遼太郎氏の「竜馬が行く」の中に武市平半太と坂本竜馬の会話があります。

「武士が敵を見て弱音を吐くか」と半平太。「吐くわい」と竜馬。「さればオンシャ、武士ではないのか」

「武士武士とがみがみいわんすな、耳が鳴るわい」「さればオンシャなんじゃい」「坂本竜馬じゃ」ケロリ

としての思想だった。肩書で生きている人が多いようです。肩書のある人は自分を肩書そのものだと思ってしまう。だから肩書を失って、だれも見向きもしてくれなくなつた時は非常にみじめな思いをする。今まで自分の肩書によりかかってきたからです。

肩書を完全に剥ぎ取つたあとに何が残るかが大切な問題です。肩書を取れば何も残らないのなら、まるで透明人間のようなものです。本来の人間は肩書を取り去つたところにあります。そこに人間として価値高い

自分というものが存在していなければなりません。人間らしい自分自身が存在していなければなりません。竜馬はそこを言ったのでしよう。



組報の発行を担当して四年、この号をもって私たち今期委員の役目も終わります。年2回の発刊でしたが、紙面割や記事原稿の収集、見出しの設け方にと読者皆様に満足いただける紙面を作るために苦心の連続でした。組内皆様のご協力をいただき無事4年間8回の組報を発刊することが出来ましたこと感謝申し上げます。組役員改選に伴い組報委員も一新されると思いますが新しい観点からより良い組報を期待しつつや々と終わります。

一九九四年二月十五日号

編集集

空知南組基推委広報部

発行所

空知南組々長事務所